

9月になりました。2020年も あっという間に もう3分の2が過ぎてしまいました。本来なら おそらく今頃は、東京オリンピック・パラリンピックの開催で、国中、世界中が湧き上がっていたことでしょう・・・そして去年に遡れば、1年後の夏の景色が まるで悪夢のような日々に 様変わりしているとは 地球上の誰もが予想できなかったことでした。

まだまだコロナについての詳細は 全く不明のまま、感染の状況も不安が募るばかりです。日を追う毎に、目に見えない“敵”と闘う現実の恐怖と困難さを 思い知らされていますが 季節が変わり、これから少しずつ気温が低くなるにつれて 身体の免疫力も下がりますので コロナ以外の様々なウィルスや 風邪などの予防も加えて、一層 気を付けながら過ごしていかななくてはならないと、皆で気を引き締めています。皆様も 厳しい残暑の中のお仕事は 本当に大変だと思いますが くれぐれもご自愛ください。神様のお守りをお祈りしています。

さて 先月末の土曜日には 皆様の御理解と御協力を頂きまして、毎月の定例職員会 及び 園内研修会を 無事に行うことができ、感謝でした。ひとりひとりの子ども達を想いながら 様々な課題についてじっくりと向き合い共に分かち合えた大変実りある1日となりました。特に コロナ禍に在っての 年度末までの歩みにおいて、つのぶえらしい 新たな生活様式を構築するために それぞれが提案し合い確認し合えたことは、私自身も心強く安心しました。安全面や衛生面を徹底させながら 感染予防を踏まえた保育の仕方、環境設定などを今一度 子ども達の目線で 子ども達の想いを中心に考え合いました。結論としての全員の想いは 『乳幼児期の子ども達にとって一番大切な心を優先していこう・子ども達に求めるよりも 大人である私たち保育者が 配慮し注意しよう・今まで以上に 私たちが皆で力を合わせて 今まで以上に 丁寧に細やかに関わり、子ども達の命を守っていこう』ということでした。子どもを抱くことや触れ合いに 躊躇や拒絶などを感じることはない。と全員が即答でした。集団生活である以上 リスクは覚悟しなければなりません、子ども達の安らかな笑顔こそ 私たちにとって 日々の生きる力であり 貴い大切な宝物であることは 永遠に変わりません。これからの後半期の園生活も、子ども達の最善と命の安全を第一に 心を込めて頑張ります。コロナ禍に在る今のこの状況は、一筋の光さえ見えない暗いトンネルを歩く旅の様ですが 共に生かされ 互いに与えられている時を感謝し、希望の光・喜びに変えていく意識を持ち あらゆる面で工夫を凝らしながら新生活様式を楽しむ保育を整備していきたいと思えます。また、コロナに対しての偏った見解や恐怖を持つことなく 冷静で正しい判断ができるよう 情報収集を行う上でも 十分な理解と学びを徹底し、細やかな配慮と対応に努めていきます。

つきましては、別紙の 本園のお知らせをお読みいただければ幸いです。また併せまして 成田市保育課からの 今後の感染状況に対する対応についての通知も 必ずご確認ください。

今年度当初、成田小学校の体育館の借用が不可能となり、半ば諦めていた『プレイデイ』でしたが、8月に入りダメ元で問い合わせましたところ、人数制限の他 規制を厳守すれば OK!との回答を頂き、感激のあまり涙が出るほど皆で大喜びし合い 神様に感謝しました。子ども達は皆 例年と全く変わらない姿で“毎日のプレイデイ”を 夢中で遊んでいます。キラキラの明るい笑顔を見ながら、このまま感染状況が悪化せず無事に開催できることを 神様に ひたすら祈り続けている日々です。今年は『皆の想いを一つに 皆で楽しもう』をテーマに、開催できることを感謝し合い、出来る形で“皆のプレイデイ”を楽しめるよう 取り組んでいます。皆様にも 御理解 御協力等を頂きますが 何卒よろしくお願い致します。 「民よ。どんなときにも、神に信頼せよ。…神は、われらの避け所である。(詩篇62:8)」(石田 記)